

日本精線 新貝元社長

——ステンレス鋼線や金属繊維など主力製品の状況は。

「昨年後半からスマホや半導体装置用などIT関連の需要減が継続しており、在庫調整局面となっている。半導体装置用超精密ガスフィルター（ナスクリーン）は12月から急激に落ち込んだ。在庫調整は解消に向かうものの、需要回復にはもうしばらく時間を要するものと考えている」

「ステンレス鋼線に関して、昨年下半年からスマホやIT関連向けの高機能独自製品は調整局面に入っている。ステンレス鋼線の前期の販売数量はタイ精線と合わせて月平均3456トで微減となった。ステンレス鋼線の国内需要は2016年下半年から2年間好調が継続したが、18年上期をピークに減少局面となっている。一方、ナスロンフィルターなど金属繊維は需要環境が良好で、販売数量は堅調に推移している」

——国内工場の設備投資は。

「NSR20で計画した高機能工」を皮切りに今期は東大阪工場に自動酸洗ラインを新規に立ち上げる。枚方工場はばね用材の能力増強に加え、リフレッシュ工事の目玉である製品倉庫を新設し、場内物流の抜本的改善を図る（20年度完工予定）。超精密ガスフィルター（ナスクリーン）の増設（18年度完

成）を皮切りに今期は東大阪工場に自動酸洗ラインを新規に立ち上げる。枚方工場はばね用材の能力増強に加え、リフレッシュ工事の目玉である製品倉庫を新設し、場内物流の抜本的改善を図る（20年度完工予定）。超精密ガスフィルター（ナスクリーン）の増設（18年度完

高機能独自製品 生産基盤を強化



——の能力増強投資も18年度に完工しており、高機能独自製品の次の成長に向けた生産基盤の強化を着実に進めている」

——新商品の開発と販売状況

「環境・医療・エネルギー関連など幅広い分野での新製品開発に取り組んでいる。超高強度ステンレス鋼線『ハーキュリーEH』は1年前に販売開始し、月期は売上高45億6千万円、経常利益3億5千万円で増収増益。これまでの対応サイズは0.1〜0.35ミリだが、2.5ミリ以上の対応できるよう技術開発を進めている。高強度銅系合金線『新エレメタル（ELEMETAL e-fine）』もスロンのメタルフィルターを製造する耐素龍精密濾機（常熟）は、水素脆性ばね用ステンレス鋼線『ハイブレイム』もより低温化の特性を高めた改善材の開発に取り組んでいる。また従来の高機能独自製品では、自動車用ターボの締結に用いられる耐熱ボル

「タイ精線など海外事業の状況は。」「米中貿易摩擦などの不安材料はあるが、海外事業は好調が続いている。タイ精線の19年2月期は売上高45億6千万円、経常利益3億5千万円で増収増益。これまでの対応サイズは0.1〜0.35ミリだが、2.5ミリ以上の対応できるよう技術開発を進めている。高強度銅系合金線『新エレメタル（ELEMETAL e-fine）』もスロンのメタルフィルターを製造する耐素龍精密濾機（常熟）は、水素脆性ばね用ステンレス鋼線『ハイブレイム』もより低温化の特性を高めた改善材の開発に取り組んでいる。また従来の高機能独自製品では、自動車用ターボの締結に用いられる耐熱ボル

東南ア好調、欧州でも拡販

——中計『NSR20』の2年目となる今期のビジョンは。

「米中貿易摩擦、中国経済の減速、ブレグジット、地政学リスクなど諸問題を考慮し、今期は減収減益を見込んでいます。販売数量は前期比微減と想定している。スマホをはじめIT関連需要の上期の在庫調整局面は織り込み済みだが、早期の需要回復に期待する」

「半導体関連など本格的な復調はまだ見えてこないが、EV向けやIoT関連はトレンドとして世界的にまだまだ伸びていくだろう。19年は辛抱の年となりそうだが、こういう時こそ次世代の高機能独自製品となる新製品の開発、海外事業の強化・拡販に取り組んでいく。NSR20で掲げた『高機能独自製品の上方弾力確保・拡販と持続的成長に向けた生産基盤強化』を目的とした諸施策を確実に実行し、やるべきことをやって次の成長につなげていく」

（綾部 翔悟）